

第	内容	日時・場所
15 回	「立案政策案のプレゼンテーション」＜実践編＞	平成 30 (2018) 年 12 月 13 日 (木) 滋賀大学大津サテライトプラザ

12月13日に滋賀大学大津サテライトプラザにて「立案政策案のプレゼンテーション＜実践編＞」が行われました。

政策分析を行う4グループが、これまで議論を重ねた結果を発表し、講師陣からアドバイスを受けました。

### 担当講師からのコメント

#### ●北村講師からのコメント

13日の報告会で出されたコメントをふまえると、検討して改善すべき点は以下の諸点であろう。

- ① 各スライドは主張すべきポイントと資料に限定する。はじめてプレゼンを聞く人（主として自治体職員）にとって理解可能な言葉を使う。
- ② セカンドライフの就労支援の具体例を、柏市と総社市について特徴と取組事業をやや詳しく説明したほうがわかりやすい。
- ③ 課題を指摘した上で提案に入る方がわかりやすい。県への提案か、市町村への提案かを明確にすべきだ。今回議論してきた中心が市町村なので、県内の市町を主たる対象にする方がよいのではないか。
- ④ 提案内容では、
  - ア) 協議会の参加団体が補助事業終了後も、この課題に自立的に取り組めるようにするには何が必要か
  - イ) 就労希望者の意見を聴取するにはどのような仕組みが必要か
  - ウ) 従来の仕事を高齢者が担えるようにするにはどのような切り分けが必要か
  - エ) 新たな地域事業として考えられるものはなにか
 等が、柱となるのではないか。

#### ●石井講師からのコメント

最終プレゼンを迎えた。三つの提案は素敵だが、ビジョン、全体事業計画、組織体制を作り込む必要がある。もう少し、頑張ってもらいたい。

#### ●上田講師からのコメント

言いたいことを上手に伝えるためには、事柄を整理してストーリーを創ることが重要である。このストーリーの根幹は、何をするか、どのようにするかだけでなく、なぜするのか、というビジョン・目的をきちんと話をする必要がある。再度なぜ、地域商社を生み育てるのか、を考えてほしい。



●横山講師からのコメント

コメント:他のグループの皆さんからの指摘を受けて、だいぶ最終提言の形が見えてきました。あと一息頑張りましょう!

●壬生講師からのコメント

立案政策案のプレゼンテーション、おつかれさまでした。いただいたご指摘をもとに内容をさらにブラッシュアップし、1月末のシンポジウムでは、公共経営グループが考える事務事業評価のあるべき姿をしっかりと提案しましょう。

●阿部講師からのコメント

プレゼンテーションが終わった。各グループからの発表は中間講評から進んでいて、まとまってきた。シンポジウムに向けた最後の追い込みが期待される。



最終回：第16回「シンポジウム」

これまでの研究成果をみなさまの前で発表します。

2019年1月26日(土) 13:00~17:00

サンライフ甲西 大ホール (湖南省) にて